

第9回施設建設選定部会（第1部会）

招集年月日	平成24年12月3日（月）					
招集場所	南部総合福祉センター2階会議室					
開会時間	午前14時00分					
閉会時間	午後15時40分					
出席員 及び 欠席委員 〔出席委員 10名〕 〔欠席委員 2名〕	委員 番号	氏 名	出 席 の 別	委員 番号	氏 名	出 席 の 別
	1	杉浦友平	○	7	慶留間清栄	○
	2	瀬長 満	×	8	上田規子	○
	3	與那嶺紘也	○	9	大城秀雄	○
	4	福島正惟	○	10	城間精善	○
	5	福地 斉	○	11	神山本聖	○
	6	崎原盛秀	△	12	玉城健一	○
会議に出席した 事務局の職・氏名	事務局長	知花賢正				
	係長	知念正樹				
	主任	新垣美智子				
その他会議に 出席した者	代理	与那嶺 武（西原町町民生活課長）				
	コンサルタント	沖縄チャンドラー				
会議に付した事件 及び議決内容	別紙のとおり					

第9回施設建設選定部会（第1部会）

会議録

次 第

1. 開会あいさつ
2. 前回議事録(要旨)の確認

【協議事項】

1. 一般廃棄物最終処分場基本計画の策定について

- ① 前回の資料では、環境保全対策の項目は入ってなかったが、今回入れた理由は。
特に要望があったから入れたのではなく、私ども（コンサル）で考えられる事項を示したものである。これについては、皆さんの意見を聞きながら追加するものがあれば追加したい。
- ② 資料の3Pのしゃ水工の項目で、「適切な措置を行うことが求められている。」という文言だけになっている。漏水が起きた場合は対応（措置）するなどの文言も入れるべきではないか。
特定の方法での表現はできないが「何らかの措置をする」という表現は入れられる。
- ③ 基本的には、三面張りの底部はコンクリート張りなので地下には漏れないということの良いのか。
鉄筋コンクリート構造物の上に二重シートをする。また、念には念を入れて漏水検知システムを設置する考えである。
- ④ 規模については、決まっているようだがこの部会で議論はしないのか。
幹事会等で決定しているのでこの部会では議論しない。ただし、ごみ減量等を加味した規模の変更は出てくる。
- ⑤ 埋立期間についての基本的な考え方をしっかり確認する必要があるのではないか。
- ⑥ 112,000 m³には人口の推移（増加）は加味されているのか。
規模については、各清掃組合からもらったデータで算出している。それには、人口の推移（増加）は加味されている。しかし、ごみ減量に関するものは入っていないので、現在、第3部会で議論している事項（ごみ減量の数値）を反映させた規模の決定を考えている。

- ⑦ 資料 2P の先行利用の項目に出ている福祉関係施設とは何か。
インドアスポーツになるが、福祉関係の方にその場所を提供して、スポーツレクやリハビリ等を行っていただく多目的広場という考え方である。
- ⑧ 屋根を利用しての太陽光発電は考えられないか。
今回の資料には提示していないが、委員からの意見が多いので基本計画のなかに具体的な例をあげて表現していく考えである。
- ⑨ 屋根の構造は何になるのか。耐用年数は何年か。太陽光を設置するために屋根自体を丈夫にしないといけないので、費用対効果も考えないといけないのでは。
構造いろいろある（スレート、膜等）、耐用年数は鉄骨等であれば 25 年程度、鉄筋コンクリートは年 35 年以上である。
- ⑩ 風力発電の件も併記していただきたい。
- ⑪ 第 1 部会が長年開かれなかった理由は。
現在は最終処分場の話が出てきたので各部会の議論ができるようになったが、以前はゼロエミッション等の抽象的な話になっていたので具体的な議論ができなかった。
- ⑫ 風力や太陽光については、地域振興なのか施設整備か。
- ⑬ 地盤は基礎地盤またはコンクリートとあるがコンクリートと決まってないのか。
基礎地盤でも基準的に問題はない。この件は基本設計、実施設計の段階で確定する。
- ⑭ 移動式はコストが掛かるのか。
移動するだけで単費で何千万円と掛かる。また、地形的に斜面なので施工的にも難しい。
- ⑮ 屋根の雨水利用はどうするのか。
散水用として利用を考えている。
- ⑯ 交付金の確保は、環境省なのか防衛省なのか早めに決めないと予算の確保が懸念される。
現在、関係機関との調整段階である。

【確認事項】

今回提示された一般廃棄物最終処分場基本計画の内容については一部修正を加えて決定する。